

かわじま 議会だより

No.
150



歌と踊りの集い（三保谷地域部会）

Contents

新議長あいさつ・議会構成について	2・3
4月臨時会・5月臨時会・6月定例会概要	4
各議員の賛否（臨時会・定例会）	5
委員会の動き（6月定例会）	6
町の考えを問う（町政一般質問）	7～9
一部事務組合からの報告	10
議会活動レポート	11
議会だより150号の軌跡	12・13
請願を提出される方へ	14



川島町議会の
ページはこちら

令和7年8月1日発行
埼玉県川島町議会

議長に 小峯松治 氏

りました

副議長に 矢内秀憲 氏



小
峯
松
治
議
長

『安心と活力ある町づくり』

皆さんこんにちは。

この度、五月二十九日の臨時議会において、議員皆様のご推挙をいただき、議会議長に就任いたしました小峯松治です。

大変光栄に存じますと共に、その職責の重さを痛感しておるところでございます。

前町長の突然の辞任により、町長選挙に三人が立候補し、五月十八日藤間隆町長が誕生しました。川島町の新たなページの幕開けとなり、多くの町民の皆様が夢と期待を寄せております。

議会といたしましても、二元代表制と権能を堅持しつつも、藤間町政と協調し、町の課題、町民が安心して暮らせる、活力ある町づくりに積極的に取り組んで参ります。

昨今、世界情勢はウクライナの

戦争や中東の問題、また、トランプ関税等々予断を許さない状況にあります。状況次第では、我が国の経済、国民生活に直接影響して参ります。対岸の火事と傍観してられない状況にあります。常にいろいろな情報動向等に目を向け、できる対応策を考えていく必要があります。

また、地球温暖化の影響により、災害の多発・激甚化により、防災減災が叫ばれ、議会としても町執行部と一丸となって対策を講じて参ります。

終わりに、川島町の限らない発展と町民皆様のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げ、議長就任のあいさついたします。

議会運営委員会

(定数6人)

議会の運営に関すること、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること、議長の諮問等に関するものを協議します。

<後列左から>

坂本 順子 為水 順二 渋谷 幸司

<前列左から>

○ 菊地 敏昭 ◎ 森田 敏男 小高 春雄



議長、副議長決まる！

各委員会の構成が 替わ

5月29日に第3回臨時会が行われ、正副議長の選挙、議会運営委員会及び常任委員会の選任、一部事務組合議会議員の選挙などを行い、議会の構成が決定いたしました。

(◎…委員長、○…副委員長)

文教厚生常任委員会

(定数6人)

町民生活課、健康福祉課、子育て支援課及び教育委員会に関することを担当し、議案・陳情等を審査します。



<後列左から>

山崎宣佳 小峯松治 渋谷幸司

<前列左から>

○坂本順子 ◎爲水順二 森田敏男

総務経済建設常任委員会

(定数7人)

政策推進課、総務課、税務課、農政産業課、まち整備課、上下水道課、出納室などに関すること及び他の常任委員会に属さないことを担当し、議案・陳情等を審査します。



<後列左から>

加藤 進 矢内秀憲 井上智恵

<前列左から>

菊地敏昭 ◎小高春雄 ○松原謙司 柴田一典



議会報編集委員会は、新たな体制となりました。今後、紙面の充実と、親しまれる議会だよりの作成に努めます。

議会報編集委員会

川越地区消防組合議会議員

菊地敏昭 爲水順二 矢内秀憲

比企広域市町村圏組合議会議員

小峯松治 加藤 進

川島・桶川資源循環組合議会議員

小高春雄 菊地敏昭 森田敏男
渋谷幸司

4 月
臨時会

専決処分の承認など4議案を 可決・承認

令和7年第2回川島町議会臨時会は令和7年4月15日の会期1日間の日程で開かれました。専決処分の承認や控訴の提起について可決、承認しました。

また、今議会において、飯島町長の退任について、同意いたしました。



正副議長など新たな役職が決まる

5 月
臨時会

藤間隆町長

令和7年第3回川島町議会臨時会は令和7年5月29日の会期1日間の日程で開かれました。正副議長や両常任委員会、議会運営委員会など新たな構成が決まりました。議案では工事請負契約の締結や監査委員の選任などについて可決、承認しました。

今議会より、新たに藤間町長が出席されました。

6 月
定例会

副町長の選任など7議案を 可決・同意

令和7年第4回川島町議会定例会は令和7年6月12日から6月19日の会期5日間の日程で開かれました。一般会計補正予算や町道の廃止認定、副町長の選任について可決、同意しました。

また、今議会において、行財政特別委員会、地方創生特別委員会の設置について議員提案があり可決いたしました。



鈴木克久副町長

各議員の賛否

※「●」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席を表しています。「―」は議員もしくは退席のため表決していません。

上程された議案		結 果	議 員 氏 名														
			井上 智恵	山崎 宣佳	坂本 順子	松原 謙司	粕谷 克己	加藤 進	渋谷 幸司	矢内 秀憲	柴田 一典	爲水 順二	森田 敏男	菊地 敏昭	小高 春雄	小峯 松治	道祖土 証
第2回臨時会	専決処分の承認（議案第30～32号）																
	専決処分の承認を求めることについて（川島町税条例の一部を改正する条例）	承認	●	●	●	／	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
	専決処分の承認を求めることについて（川島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	●	●	●	／	●	●	×	●	●	●	●	●	●	●	—
	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度川島町一般会計補正予算（第2号））	承認	●	●	●	／	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
第3回臨時会	控訴の提起（議案第33号）																
	控訴の提起について	可決	×	×	●	／	×	●	×	●	●	●	●	●	●	●	—
	工事請負契約の締結（議案34～35号）																
	工事請負契約の締結について（川島町立中学校体育館LED化及び空調設置工事）	可決	●	●	●	●	／	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
第4回定例会	追加議案（議案第36号）																
	監査委員の選任について	同意	●	●	●	●	／	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
	補正予算（議案第37号～38号）																
	令和7年度川島町一般会計補正予算（第3号）	可決	●	●	●	●	／	●	×	●	●	●	●	●	●	●	—
第4回定例会	町道の廃止（議案第39号）																
	町道路線の廃止（町道3515号線）	可決	●	●	●	●	／	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
	町道の認定（議案第40号）																
	町道路線の認定（町道4722号線）	可決	●	●	●	●	／	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
	追加議案（議案第41号～47号）																
	副町長の選任について	同意	●	●	●	●	／	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
	議提（第3号～4号）																
	行財政特別委員会設置に関する決議について	可決	●	●	●	●	／	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
第4回定例会	地方創生特別委員会設置に関する決議について																
	地方創生特別委員会設置に関する決議について	可決	●	●	●	●	／	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

○監査委員の選任

審議の結果、監査委員に爲水順二氏を選任することに同意しました。

○副町長の選任

審議の結果、副町長に鈴木克久氏を選任することに同意しました。

（※議員名は、議席順となっています。道祖土議員は4月30日、粕谷議員は5月13日に辞職されています。松原議員は5月19日に就任されました。）

総務経済建設常任委員会

総務経済建設常任委員会は、6月13日（金）に議長より付託された3議案を審議しました。主な審議内容は次のとおりです。

令和7年度川島町一般会計補正予算

問 定住促進事業については。

答 7月1日より定住促進事業が開始されます。この事業は県の補助金を活用し、東京圏から町に移住したい方に、支援金を給付する町と県による移住応援プロジェクトです。

問 全国的に人口減少が続ぎ、当町も大きな課題では。

答 今後も、町の特異性を生かし、空き家対策、交通の利便性等、いろいろな政策で選んでもらえる町づくりを推進していきます。

問 現在の職員数は。

答 正規職員数148人、会計年度任用職員のうちフルタイムが26人、パートタイムが146人です。

町道路線の廃止について（町道3515号線）

問 上伊草天神地区でのホテル建設に伴う町道の廃止とのことだが、その借地の期間は。また、道路と水路の面積は。

答 貸付条件として50年の期間を設定すると伺っています。面積については道路が302平方メートル、水路が154平方メートルです。

町道路線の認定について（町道4722号線）

問 三保谷紫竹地区の町道認定については、町の規格に沿ってつくった道路の採納願いを町が受理したものか。

答 法令や町の道路整備基準に基づきよう指導し完了検査を経て帰属申請を受け、認定するものです。



文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、6月13日（金）に議長より付託された2議案を審議し、終了後、さくら保育園を視察しました。主な審議内容は次のとおりです。

令和7年度川島町一般会計補正予算

問 子ども・子育て支援金制度の財源はどのように徴収されるのか。

答 後期高齢者医療保険において一般保険料と区分した上で、令和8年度は月額平均200円徴収される見込みとなっています。また国民健康保険については、国から詳細が示され次第実施します。

問 子ども誰でも通園制度の実施にあたって、準備状況や危惧していることを伺いたい。

答 当町ではすでに一時保育を実施しており、通園制度の対象年齢である生後6か月までの拡大を検討していますが、在園児との合同保育とすると保育時間が異なるため、現場での混乱を危惧しています。

令和7年度川島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

問 後期高齢者の被保険者全員へ資格確認書を一齐に送付することだが、来年以降は。

答 後期高齢者はデジタルが苦手な方が多いことから令和8年7月31日までは、マイナ保険証の保有にかかわらず、資格確認書の運用を継続します。8月以降についてはまだ未定です。

さくら保育園を現地視察

町立保育園の保育環境の整備にあたり、令和8年度に、けやき保育園の大規模改修を行います。

その間、一時的にさくら保育園に集約されるため、想定園児数や職員の状況を確認しながら、園内の視察を行いました。





町の考えを問う

6月17日、18日に町政一般質問が行われ、5人の議員が登壇しました。各議員の質問事項と、その概要は次のとおりです

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

※質問議員下の二次元コードを読み取ると、録画した動画を見ることができます。

坂本 順子 議員

- 1 5歳児健診の実施について
- 2 帯状疱疹ワクチン任意接種の今後の助成制度について
- 3 リチウムイオン電池の回収について

山崎 宣佳 議員

- 1 学校、保育施設等の安全対策について
- 2 特殊詐欺の被害者を出さない安心のまちづくりについて

爲水 順二 議員

- 1 町長就任の所信表明等について

加藤 進 議員

- 1 廃校利活用について
- 2 かわみんタクシーとかわじま安心お助け隊について

渋谷 幸司 議員

- 1 介護報酬引き下げの影響と特別障害者手当について
- 2 平和事業について

問

5歳児健診の実施について

答

来年度からの実施に向けて関係機関と調整を図ります

問 5歳児健診の目的は。

答 子どもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援とともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、子どもの健康保持及び増進を図ります。

問 5歳児健診の対象は。

答 実施年度に満5歳になる子どもが対象になります。

問 健診で特性が判明された場合の対応は。

答 本人の状況や特性に合わせて、専門スタッフへの相談や、医療機関への受診を勧めます。また、町では毎月一回「つくしんぼ教室」を開催し、親子の遊びを通して、その子独自の成長する力を伸ばすとともに、親同士の交流を図っております。

問 帯状疱疹ワクチン任意接種の今後の助成制度は。

答 令和7年度は任意接種と定期接種の制度を併存して運用していますが、働き盛りの50歳以降の方が帯状疱疹により重症化する事は、大きな影響を及ぼす恐れがあるこ



坂本 順子 議員



とから、令和8年度以降も定期接種と併せ任意接種も継続して実施します。

問 町のリチウムイオン電池の回収方法は。

答 ごみ収集車の火災や大きな事故が起きないために、集積所に出す場合は、有害ごみとして、不燃ごみや危険ごみと同じ袋で出さないように。また、本体から取り外せる場合は、電極部や金属端子をセロハンテープ等で貼って絶縁し、有害ごみとして出していただきます。



2歳児健診

問 公道・交差点に防犯カメラの設置を

答

慎重に検討していきます



山崎 宣佳 議員

問 株式会社川島町を運営とは

答

企業の経営手法を参考に



為水 順二 議員

問 特殊詐欺の被害者に対して町としての寄り添い方は。

答 万が一被害にあわれた方には、その心情に寄り添い、必要に応じて関係機関と連携します。

問 町長が警察に出向き早期解決を要請できないか。

答 町ができることとして、犯人逮捕に向け要請や協力については一切惜しまない形で、足を運ばせていただきたいと思います。

問 公道・交差点などに防犯カメラを設置できないか。

答 犯人の移動経路や証拠収集に有効的だと思いますが、プライバシー保護の観点、監視社会の問題もあり、慎重に検討していくべきものと考えております。

問 学校、保育園等への侵入者対策はどのようなものになっているのか。

答 登下校時や保育時間外には、出入口を限定することで無断侵入を防止しています。来訪者には記名や名札の着用、インターホンによる確認を徹底しています。また、防犯カメラを設置して、監視体制

の強化を図り、地域のスクールガードやボランティアによる見守り活動を通じて、大人の目による防犯効果を高めています。

さらに、学校・保育園ともに危機管理対応マニュアルを整備し、職員が1人では対応せず、複数名で連携して対応する体制を構築しております。必要に応じて速やかに110番通報できるよう備えています。加えて、有事の際は確かな対応で子どもたちを守っていきたいと思っております。



県内で特殊詐欺被害が増加中

問 町長が示す「町民目線で経営」の意味合いについて。

答 企業における経営は目標を設定し「ヒト・モノ・カネの3要素を最適配分して利益を生み出し、企業を成長させる事」などから企業の経営手法を取り入れ、効率的かつ効果的な行政サービスを提供していきたいと考えています。

問 教育で選ばれる町を目指すための全体像は。

答 小中一貫教育による学力の向上やグローバルな視点を持った子ども達を育てる英語教育。町で義務教育を終えると英語での日常会話ができるというような教育を進め、町の優れた教育環境を町外へも発信してまいります。

問 伊草地区の高台避難場所計画について進捗は。

答 国が作成した計画において水防拠点として位置付けられていますが、現段階では具体的には決まっています。

問 道場橋から国道254号への高架化の早期実現を期待するが今

後は。

答 県の事業として整備していただくよう坂戸市と連携し、実現に向けて要望をしております。

問 学童保育の充実について、伊草の学童保育の環境を整えるため、保育園の廃園舎を活用することは可能か。

答 選択肢の一つとしては、可能性はあると思います。

問 インター南側の開発についての今後は。

答 残り40haの開発に向けて「地域未来投資促進法」を活用し関係機関と調整を進め取り組んでまいります。



町長からのメッセージ



問

廃校を障がい者施設や、防災施設に出来ないか

答

国の伴走型支援を活用して考えていきます



加藤 進 議員

問

特別障害者手当の周知が不十分では

答

パンフレット等を作成し、窓口でも丁寧に説明します



渋谷 幸司 議員

問 今年から小中一貫教育がスタートし、廃校が2校追加されました。廃校を維持管理していくためには、年間1校当たり約450万円位かかると言われていますが、4校になり1,800万円相当になると思うが、どのような活用を考えているのか。

答 旧つばさ南、北小学校は、売却、譲渡を前提に資産活用をしていく計画です。民間事業者からの事業提案を募集しているところです。

問 廃校を障がい者施設や、就労支援等で活用出来ないか。また、埼玉県中央防災基地や、埼玉県中央航空隊が有るので防災施設や、消防学校などに利用できないか。

答 障がい者施設としての利用は建築または建物用途の変更が可能です。しかし、就労施設や、消防学校等は、都市計画法等の基準を満たすよう都市計画の手続きが必要です。

問 かわみんタクシーの拡充と言う事で今年の6月から町外指定病



拡充された
かわみんタクシー

院の数が13か所となりましたが、駅までの乗り入れを考えているとの事だが、どの駅を考えているのか。

答 町民のニーズに対応し、町外指定病院を6か所追加させて頂きました。なお、駅への乗り入れは、路線バスなど既存の公共交通もあるため、地域公共交通会議などで議論させていただきます。

問 かわみんタクシーとかわじま安心お助け隊との違いは。

答 かわみんタクシーは公共交通としてのデマンド交通、かわじま安心お助け隊はボランティアによる生活支援サービスの提供と担い手となるサポーター会員の介護予防並びに地域経済の活性化を目的としています。

問 特別障害者手当の周知が町民にされていないと相談をうけている。現在の受給状況と今後の周知は。

答 特別障害者手当は、在宅での日常生活で、重度の障がいゆえに常時特別な介護が必要な20歳以上の方に、介護等の負担を軽減するために月額29,500円を支給する国の制度です。現在、受給している方は21名です。窓口相談がある方は丁寧に制度を説明します。また、分かりやすいパンフレットの作成なども考えます。

問 昨年、訪問介護基本報酬の引き下げが行われました。事業所への影響はどうか。また、事業所の経営を支援するために、基金や一般会計から補填をする考えは。

答 介護現場は危機に直面しています。急速な高齢化で介護を必要とする方は増加基調にあり、年々介護職員にかかる負担は重くなっています。事業所の経営状況も厳しいと聞いています。

県が訪問介護の担い手確保や安



町の担当課にご相談してください

定化を図るため補助制度を創設しました。町も国・県と協議しながら基金の活用も検討したいと考えています。

問 今年、被爆、戦後80年の節目の年です。令和7年度の平和事業は何をするのか。

答 町民の皆さんに資料を提供していただいて、実際に軍事教練に使用した木銃など84点の戦争に関する資料等が集まりました。平和の尊さを改めて考えていただける機会になるように、8月11日から17日に役場庁舎の多目的室において「川島の戦争展」を開催します。

第1回 川越地区消防組合議会臨時会

令和7年3月27日 会期1日間

為水 順二
小峰 松治
矢内 秀憲

令和7年「第1回川越地区消防組合議会」が令和7年3月27日に開催されました。

議案第1号 新刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例を定めることについて

議案第2号 川越地区消防組合消防職員の給与に関する条例及び川越地区消防組合会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

議案第3号 川越地区消防組合非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

議案第4号 令和6年度川越地区消防組合一般会計補正予算（第3号）

議案第5号 令和7年度川越地区消防組合一般会計予算

全議案とも全員賛成で原案どおり可決されました。（小峯）

第2回 比企広域市町村圏組合議会定例会

令和7年5月22日 会期1日間

加藤 進

令和7年第2回比企広域市町村圏組合議会臨時会議会が令和7年5月22日に開催されました。提出された議案は7件あり、主なものは左記のとおりです。

議案第18号 監査委員の選任について

内 容 議会選出監査委員の吉野正浩氏が本年4月30日をもって組合議会議員を辞職されましたので、新たに、内田敏雄氏を選任したいとするものです。本議案について、全員賛成にて可決されました。

なお、他6議案については、消防関係の議案であり、川島町に関連のない議案となりますので報告を省略いたします。（加藤）

川島桶川資源循環組合議会報告

令和7年4月30日 会期1日間

小高 春雄
森田 敏男
菊地 敏昭
渋谷 幸司

令和7年4月1日に、川島桶川資源循環組合が設立しました。

令和7年度第1回川島桶川資源循環組合議会臨時会が令和7年4月30日（水）に川島町で開催され、議長に川島町の小高春雄議員、副議長に桶川市の佐藤洋議員が選出されました。組合議員数は8名で、川島町からは小高春雄議員、森田敏男議員、菊池敏昭議員、渋谷幸司議員の4名、桶川市からも4名が選出されました。

審議されました議案は、議員提出議案が4件、管理者職務代理者提出議案が12件ありました。議案第10号では「令和7年度川島桶川資源循環組合一般会計予算」が審議され、歳入歳出の総額を2億1,295万1千円とすることが可決されました。上程されました、議提、議案は全て可決・承認・同意されました。（渋谷）

川島町議会活動レポート

川島町水防訓練に参加



5月25日、川島町水防訓練が伊草地内で実施されました。訓練会場のほかに、広域避難訓練としてハイワールド、鶴ヶ島グリーンパーク、上尾運動公園での広域避難訓練を実施しました。町議会議員も出席し、出水期の安全確保について学びました。

つばさ小学校開校記念式典



4月25日、川島町立つばさ小学校の開校記念式典が開催されました。子どもたちには新しい学び舎での学校生活をより良いものにして欲しいです。

2つの特別委員会を設置しました

令和7年第4回定例会において「特別委員会設置に関する決議について」が可決しました。両委員会の設置目的や所属委員については下記のとおりです。

行財政特別委員会

この特別委員会は、今年4月から開校となった小中一貫校や、今後予定されている、さくら保育園とけやき保育園の統合などにより、施設が廃校となり、それら公共施設の利活用が大きな課題となっています。その他行財政に寄与するものも含め、これらの状況などを調査・研究するため、特別委員会を設置するものです。

委員長
副委員長
委員

加藤 進
小谷 幸
柴田 春典
矢野 秀一
山崎 宣佳

地方創生特別委員会

この特別委員会は、地域経済の活性化を目標に掲げ、令和4年1月に、立ち上げられた地域商社「一般社団法人さまちか」や、鳥羽井沼開発など、地域資源を最大限に生かした、まちづくり活動を進めていく必要があります。これらの状況を調査・研究するため、特別委員会を設置するものです。

委員長
副委員長
委員

菊地 敏昭
松原 謙
森田 敏
為水 順二
坂本 恵子

①



- 主な内容
- 議会だより新聞に載せて
 - 川島町議会昭和63年度予算案
 - 川島町議会昭和63年度決算案
 - 川島町議会昭和63年度決算案
 - 川島町議会昭和63年度決算案
 - 川島町議会昭和63年度決算案
 - 川島町議会昭和63年度決算案
 - 川島町議会昭和63年度決算案

昭和63年度予算
総額64億3,592万円

一般計39億7,000万円

特別会計10億5,000万円

基金1億4,592万円

国庫補助金等 8億5,000万円

学費助成金 1億2,000万円

下水道事業 1億2,000万円

老人保健 7億3,181万円

多岐事業 収入 2億2,381万円
支出 2億2,381万円

議会だより

150号のあゆみ

川島町議会だよりは本号にて150号の発行となりました。

今後も町議会のうごきを分かりやすく町民の皆様にお伝えしてまいります。町や時代の節目を切り取った表紙をご紹介します。

⑤



④





2002年4月 第25卷第4期

③ 川島町
議会だより

平成14年8月20日 第57期

地址：江蘇省揚州市 揚州 揚州郵政管理局

收稿日期: 2004-07-12; 接受日期: 2004-08-12

1. 本表以 2000 年 12 月 31 日的数据为准。

新加坡：王仲雄
 香港：李國雄、李國華
 台北：劉曉明、李國華、王仲雄

新しい星を求めて
たけし 30

[illegible]

● 2017年10月 第10期 ●

1. 本表以 2000 年 12 月 31 日的数据为准。

第38号

圖書：北野倫太郎著

謝江／江蘇省揚州 鄭義／湖北省襄陽市 王國治／湖北省襄陽市 謝安國／廣東省江門 751 2002-07-19 11:16



11月3日 農業機工業

摘要

平成25年度一般行政事務費	2
地方自治法 審議結果	3
委員会のうきき	2-3
町の考えを問う（一般質問に10人）	2-3
財政・税制能力	2-3

No. 149



1992年12月15日

Contents

3月定例会概要	2・5
委員会の動き(3月定例会)	6・9
会議場の様子	8
席の考えを語り(町席一般質問)	9~13
特別委員会報告	14
所管事務調査報告、特別委員会調査報告	15
だにふ城南町町議会議員会報告ほか	16
議員活動レポート	17
4つの「ふ」みよう ほか	18



令和3年5月1日発行
埼玉県川島町議会

議会日誌

4月

- 9日 議会報編集委員会
- 11日 議会運営委員会協議会
議会運営委員会
議会全員協議会
- 15日 第2回臨時議会
- 25日 つばさ小学校開校記念式典

5月

- 25日 町水防訓練
- 26日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 29日 第3回臨時議会
議会運営委員会
議会全員協議会

6月

- 5日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 12日~19日 第4回定例会
- 13日 議会運営委員会
- 17日 議会全員協議会
- 19日 議会運営委員会
議会全員協議会
議会報編集委員会
- 30日 議会全員協議会

9月の定例会予定

9月の定例会は9月上旬に
開会予定です。

※予定が決まり次第、町ホームページ
でお知らせいたします。

相	委	副	委
談	員	員	員
役	員	長	長
小	井	山	坂
峯	上	崎	本
松	智	宣	順
治	恵	佳	子
		司	司
		憲	秀

議会報編集委員会

請願書を提出される方へ

町民の皆さんが、町政に関することで町議会に対し、意見や要望を提出する制度として請願があります。町議会に請願する方は、次の要領で提出してください。なお、請願には紹介議員が必要です。提出された請願は、直近で開催する議会で審議されます。

○請願書の様式例
(表紙)

(内容)

請 願 書 紹介議員 氏 名 (署名または記名押印)
1. 件名 ○○○○に関する請願書 (内容を端的に表すもの) 2. 請願の趣旨 (請願の内容及び理由) 地方自治法第124条の規定により、 上記のとおり請願書を提出します。 年 月 日 住所 氏名 川島町議会議長 ○○○○様

表紙解説

ギターの音色で、この異常な暑さが和らぎました。会場での参加者は居心地の良いひとときを満喫されました。

三保谷地域部会(旧公民館)主催による「歌と踊りの集い」が6月15日に行われました。当日の来場者は、出演者を含め、概ね130名。表紙は、町のギター教室の修了生で自主的なグループ(名称「ハビネス」)の皆さんによる演奏です。

また、写真の撮影者は三保谷地域部会会長の鈴木克史さんによるものです。

これからも地域活動センターの活動を議会議員一同、ご協力させていただきます。

(写真・文章/矢内)

編集後記

5月の臨時議会で、新しい議会報編集委員が選出されました。私は7年続けて議会報を担当する事になりました。

川島町議会は年4回の定例会と臨時会、その他にも常任委員会や町の重要な課題を調査研究する特別委員会、広域で組織している一部事務組合などの活動を年間を通じて行っています。

私たちは、議会の活動を町民のみなさんに知っていただくために「分かりやすく、読みやすい」議会報づくりに取組んでいます。先進自治体の実践を学びながら、町民の目線に立って、町民参加の記事を掲載するなど紙面の充実に取組んでいきます。

(渋谷)